

女性の活躍に関する情報公表（令和7年4月1日）

1 教職員数及び管理職員数（令和6年5月1日時点）

単位：人、％

教職員区分	教職員数				うち、管理職			
	女	男	合計	女性比率	女	男	合計	女性比率
県大教員	92	116	208	44.2%	13	11	24	54.2%
芸大教員	23	65	88	26.1%	4	7	11	36.4%
正規職員	64	49	113	56.6%	2	8	10	20.0%
（うち、プロパー）	58	30	88	65.9%	1	4	5	20.0%
月給契約職員	71	17	88	80.7%				

2 採用者数及び女性比率

単位：人、％

教職員区分	令和4年度			令和5年度			令和6年度			3か年計		
	女	男	女性比率	女	男	女性比率	女	男	女性比率	女	男	女性比率
県大教員	6	12	33.3%	10	6	62.5%	7	4	63.6%	23	22	51.1%
芸大教員	1	2	33.3%	1	2	33.3%	3	2	60.0%	5	6	45.5%
正規職員	2	5	28.6%	10	1	90.9%	8	1	88.9%	20	7	74.1%
月給契約職員	20	6	76.9%	13	4	76.5%	18	2	90.0%	51	12	81.0%

3 勤続年数の男女差（令和6年5月1日時点）

教職員区分	女	男	男女計
県大教員	12.20年	15.16年	13.80年
芸大教員	10.41年	13.17年	12.47年
正規職員	8.12年	9.25年	8.49年
月給契約職員	7.92年	10.63年	8.56年

4 所属別平均時間外労働の状況

単位：時間数（小数点以下四捨五入）

年	令和6年度												年間平均
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
県立大学	15	11	10	9	6	10	10	8	7	14	11	14	10
芸術大学	20	17	15	13	9	16	25	20	16	21	20	23	18
法人事務部門	22	16	16	12	9	10	11	13	12	16	16	22	15
計	18	13	12	10	7	11	13	12	10	15	14	17	13

5 男女の賃金の差異

職員区分	男女の賃金の差異 (男性の賃金に対する 女性の賃金の割合)
全労働者	75.2%
正規職員	87.5%
有期職員	57.7%

- ・対象期間：令和6事業年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）
- ・賃金：基本給、超過労働に対する報酬、期末勤勉手当等を含み、退職手当及び通勤手当を除く。
- ・正規職員：期間の定めがないフルタイム労働者
- ・有期職員：短時間労働者及び有期雇用労働者（任期付教員等）

- ・差異についての補足説明：

<正規職員>

- ・相対的に賃金が高い教員の男性割合が高い一方、賃金水準の低い事務職員は女性の割合が高いこと、管理職における女性職員の割合が低いこと、育児のための短時間勤務利用者の多くが女性職員であることなどから、男女の賃金の差異が生じていると思われる。

<有期職員>

- ・相対的に賃金が高い任期付教員が女性よりも男性に多いことが影響している。
任期付教員の男女の賃金の差異：103.0%
任期付教員を除いた有期職員の男女の賃金の差異：85.4%